

高知家地方創生 アイデアコンテスト 2017

結果報告



高知県

高知家地方創生アイデアコンテスト2017を開催しました！

高知県では、県内在住の高校生や大学生等の学生を対象に国の公開する地域経済分析システム（RESAS：リーサス）等の客観的データを活用して地域の課題を発見し、それを解決して地域を元気にするアイデアを競う「高知家地方創生アイデアコンテスト2017」を開催しました。このコンテストは、昨年度から実施しており、今回で2回目の開催となります。



2017年7月10日から10月25日までの間、アイデアを募集した結果、前回の76作品を上回る117作品もの応募が寄せられました。

2017年11月12日には、審査員による一次審査を通過した10作品のプレゼンテーションと最終審査を行い、各受賞グループを決定しました。



高知家地方創生アイデアコンテスト2017

7月10日

アイデアの募集開始

高知県内在住の高校生、大学生、高専生、専修学校生などの学生を対象にアイデアを募集

10月25日

募集期間終了

昨年度を上回る**117グループ**からアイデアが集結！

11月2日

一次審査結果発表

最終審査会に進出する10グループが決定！

11月12日

最終審査会

いざプレゼンテーション！高知家地方創生大賞をはじめ各賞が決定！

受賞作品介绍



高知家地方創生大賞

グループ

高知工業高等専門学校 カミツレ

作品名

べじふるパウダーが高知を変える！？

作品概要

私たちは、RESASやその他の情報から、高知の野菜や果物は全国に引けを取らないくらい素晴らしい特産物であることを知った。しかし一方で、高知が誇るべき地元の野菜や果物が全国的に知名度があまり高くないことに問題があると考え、高知の野菜や果物をもっと身近にし、そして有名にするアイデアを考えた。

そこで私たちは、「べじふるパウダー」という野菜や果物をそのまますり潰して作る、安全でカラダに優しく、無限大の力を秘めた着色料の活用を提案する。

発表内容

RESASで高知の野菜の生産を分析

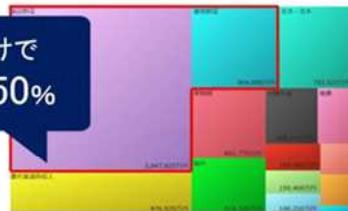
2010年の高知県の農業部門別販売金額は、野菜だけで約50%の割合を占めており、高知県は野菜の生産に強みがあると分析した。

品目別では、しょうが、なす、にら、みょうが、ししとうの収穫量は全国1位。この強みを生かすアイデアを検討した。

高知は野菜が強い

高知県の農業部門別販売金額 9,113,725万円 (2010年)

野菜だけで
約50%



分析

べじふるパウダー×高知の特色えんぴつ

アイデア

- べじふるパウダーをつくり、色えんぴつにする
- 間引きなどで伐採される高知の木を使用
- そのものが持っている自然の色合い
- 色えんぴつとともに、土佐和紙で作っためり絵をつける

野菜・果物を使って高知PR商品開発！

高知の野菜・果物をすり潰して作る安心・安全の着色料「べじふるパウダー」を提案。実験を行い「べじふるパウダー」を使用したキャンドルやハンドクリームを実際に試作！

このほか、高知の間伐材や土佐和紙を活用できる色鉛筆の開発を提案した。

受賞者コメント

今回、地方創生アイデアコンテストで高知家地方創生大賞を受賞することができ、とても嬉しく思います。それとともに、サポートして下さった方々への感謝の気持ちでいっぱいです。これからは、「べじふるパウダー」の実験を少しずつ進めていきたいと考えています。今後とも、応援よろしくお願ひします。





優秀賞(2点)

グループ

高知県立山田高等学校 しばてん

作品名

高知にはしばてんがおる！～フラッシュモブで、しばてん踊り～

作品概要

私たちのグループでは、高知市の滞在人口についてRESASを使って調べた。すると、関西圏からの滞在人口が多いこと、また、男性より女性の滞在人口の方が多かったことが分かった。そのため、ターゲットとして“リがいい”関西圏の若い女性を設定し、彼女たちを惹き付けるアイデアを考えた。

そこで、高知の宴席等で伝統的に踊られている「しばてん踊り」をフラッシュモブで踊り、高知の魅力を発信することを提案する。

受賞者コメント



データ分析やアイデアの創造など、どれも難しかったです。すごく緊張しましたが、チームメイトや応援してくださった先生方から自信をいただきました。

発表内容



分析

←高知市滞在人口を分析。関西圏、女性の滞在人口が多いことに着目した。

アイデア

ターゲットの関西圏の“リがいい”女性を惹き付けるアイデアとして、フラッシュモブで「しばてん踊り」を提案！ →

そこで!

私たちは、フラッシュモブも盛り込んだ「しばてん踊り」をやりたいと思いました。



これがねえ、たまるか、ゆるゆるの夢に...

グループ

高知大学・高知工科大学 Glow with UP

作品名

高知家スーパープレゼンテーション

作品概要

高知県は全国に先駆けて、人口社会減が進行している。このまま人口が減少すれば、高知県存続の危機である。高知県は新卒就職、進学時の人口流出、流入が多いことがRESASのデータからわかる。だが高知で就職することや、進学を機に高知にきた若者が留まるケースはまれである。

しかし、少しのきっかけを若者に与え背中を押すことで、高知での生活を選択する若者は増える。その提案が「高知家スーパープレゼンテーション」である。

受賞者コメント



“地方創生”を意識し再現度の高い提案をしました。多世代が自由な意見発信ができるコミュニティを創ることが若者定着につながると願っています。

発表内容



分析

←進学などによる高知県の人口流出を分析。高知県外から進学で県内にきた若者が留まることがカギ。

アイデア

若者定着には、高知在住の社会人と知り合えるコミュニティが必要。高知を思う人が「夢」をプレゼンし合う場づくりを提案。 →





アイデア賞(2点)

グループ

高知県立高知西高等学校 トムヤムクン

作品名

タイ人を呼び込みタイゼよ!

作品概要

昨年、訪日外国人は2400万人を超え、その7割強を東アジアが占めている。私たちは経済成長が著しい東南アジアに注目し、その中でも最も訪日外国人が多く、超富裕層が増加しているタイに注目した。

ゴールデンルート中心の観光により高知県に来るタイ人観光客は少ない。そこで私たちは、ゴールデンルートから呼び込むタイ人をセレブに限定し、セレブを高知県に注目させる「投資」の視点を入れたバーチャル観光や旅行プランを提案する。

受賞者コメント



今回、アイデア賞を受賞することができて嬉しかったです。今後、プランを改善し、実現に向けて取り組んでいきたいです。

発表内容



分析

超富裕層の増加が著しく、インバウンドのターゲットとして有望なタイ。しかし、高知県への訪問者数は少ない。

←

アイデア

高知の「食」「自然」「歴史」を売り込む。ヘリでの移動やバーチャル観光を提案。 →



グループ

高知県立城山高等学校 ビジネス研究部

作品名

香南市活性化計画 The second ~外から内から~

作品概要

香南市は平成18年に香美郡赤岡町、香我美町、野市町、夜須町、吉川村が合併して誕生した。香南市唯一の高校である城山高校が位置する赤岡町を元気にして活性化をさせたいという思いで今回の提案を企画した。

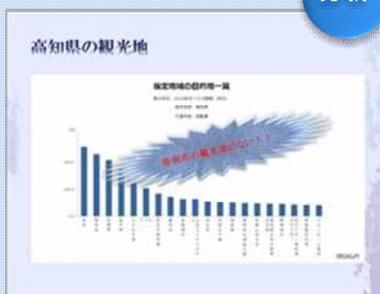
「土佐絵金歌舞伎」に全国や世界中からもって観光客に来てもらいたいという提案である。自作した簡単なアニメーションや最後に少したけ「見得」を切るところが、見せ場。

受賞者コメント



他校の取り組みを聞いて良かったと思います。これからも色々なことを吸収しながら、高知県のために頑張っていこうと思います。

発表内容



分析

←高知県の観光地を分析。香南市の観光地がないことを指摘。自身で香南市の観光施設を調べた。

アイデア

香南市の観光パックのひとつとして、「土佐絵金歌舞伎」のメイク・着付け・振付体験を提案。実際に自分たちで体験した。 →





敢闘賞(5点)

グループ

高知県立伊野商業高等学校

作品名

いの町の いの町による いの町のための活性化案

作品概要

私たちのグループはR E S A Sでいの町の人口と観光客について調べた。その結果、少子高齢化により年々いの町の人口が減っており、また、観光客は高知市の2分の1程度にしかないということが分かった。そのため、わたしたちは他県の人たちに少しでもいの町に興味を持ってもらうためマーケティングを使いたい町の観光ツアーを提案する。

発表内容



いの町の観光を分析。高知市を比較して観光地の少なさを指摘。

グループ

高知県立大学 福間ゼミ

作品名

茶ちやっと、こよう

作品概要

高知県では、生活困窮者が課題である。また、大豊町は人口減少や碁石茶の後継者不足が深刻化している。ここに着目して、高知県の生活困窮者と大豊町の碁石茶農家を、福祉関係機関や施設などが仲介する。そして、雇用・社会復帰の機会をつくりたいと考える。今ある社会資源を活用し、生活困窮者問題・大豊町の人口、農業の問題の解決を図りたい。

発表内容



農業従事者の平均年齢を調べた。後継者不足に陥っていることを指摘。

グループ

高知県立中村高等学校

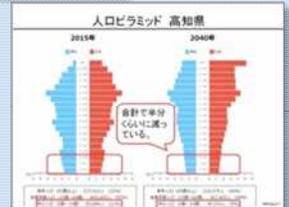
作品名

フランスのアイデアを高知県に～少子化について～

作品概要

高知県の子供の数は年々減少している。子供の人口減少の原因は、一番は子供の養育費や教育費にたくさんのお金がかかること。フランスでは、子供を二人産むと、国から毎月給付金が支給され、三人目からは二人の倍以上の寄付金が給付されるということを参考に、高知県の人口を克服する解決策、また、子供を産んでも仕事に復帰しやすい環境づくりについて考えた。

発表内容



高知県の人口ピラミッドを調べた。今後、年少人口の減少が進んでいくことを指摘。

グループ

高知工業高等専門学校 PLAYer

作品名

県花の有効活用方法

作品概要

経済がなかなか発展しない南国市を県花である「やまもも」を利用して活性化させようと考えた政策案。食べるではなく使うという視点から見つめ直し、化粧水を作るという案にたどり着いた。これにより南国市だけでなく高知県全体をも活性化し得ると考えている。そして、高知県がこの案により、より豊かで元気になることを願っている。

発表内容



高知県の農業別販売金額を調査。比較的少ない果樹類にターゲットを絞った。

グループ

高知県立山田高等学校 だんだん畑

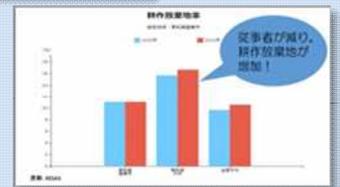
作品名

だんだん畑で三愛主義～若者の働く場づくり～

作品概要

僕たちのグループは、耕作放棄地について調べた。高知県は全国平均の耕作放棄地率を上回っていたので、その土地を活かし、雇用を生み出すことを考えた。仲介者は、販売ルート開拓のほか、作物の作り方を教えたり、農機具の貸し出しなども行う。理想は、農業に興味のある人が、県内で多く農業をしてくれるようになることと、農業体験をした人が新しい人と呼ばれるようにマルチ的に情報が広がっていくことだ。

発表内容



高知県の耕作放棄地率は全国に比べ高い。その土地を活かす施策を考えた

アイデアの実現に挑戦！

昨年度開催した「高知県地方創生アイデアコンテスト」の受賞作品の中には、さらにアイデアを深め、実際に実現に挑戦したものがあります。各グループの取り組みをご紹介します。

グループ 高知県立山田高等学校

作品名 災害！？そんなのへっちゃら☆

アイデア概要

東日本大震災の際の社会移動に着目し、南海トラフ地震対策として、高校生ができるアイデアを検討。備蓄非常食を使ったメニューを提供する「防災食堂」を開催し、交流の場としての学校の活用を提案。

実現に向けた取組

防災食堂実行委員会を発足！

校内に「防災食堂実行委員会」を立ち上げ、実現に取り組んだ。委員会では、防災植物の活用に着目し、「日本防災植物協会」の協力も得て、防災植物を採取するフィールドワークや地域のヘルスメイトの方とのレシピ研究などを行った。



↑ヘルスメイトとレシピ研究
←校庭で防災植物を採取



↑防災植物マップも作成
←防災食堂のブース

文化祭で「防災食堂」を開催！

山田高校文化祭で、防災食堂を開催。備蓄非常食のラーメンやシチューのほか、シロツメクサの天ぷらなどを来場者に無料提供した。

取組の感想

防災食堂では、私たちが想像していたより多くの方にお越しいただきました。当日は対応に追われながらも無事成功して、やってよかったです。後輩にも続けてほしいと思います。関係者の皆様ありがとうございました。

グループ 高知工業高等専門学校

作品名 高知県の廃棄しょうがを利用した紙づくり「しょうがペーパー」

アイデア概要

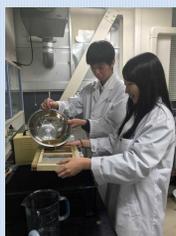
高知県の野菜生産とそれによって生じる廃棄野菜に着目。特に高知県の特産である「しょうが」を活用し、紙づくりを行うアイデアを提案。

実現に向けた取組

学外から協力を得る！

廃棄しょうがを利用するアイデアを実現するため、県内生姜卸の大手「株式会社あさの」に相談。無償で端物や生姜汁の搾りかすなどの素材の提供を受けた。

さらに、製紙技術を向上させるため、梶原町の和紙職人人口ギールさんの工房「かみこや」で伝統的な土佐和紙の製法を学んだ。



↑日々の研究の様子

製紙技術向上！

製品開発へ

学内外での研究の結果、品質が格段に向上！今後は、しょうがペーパーを活用した名刺など製品開発に向けた研究をさらに深める。

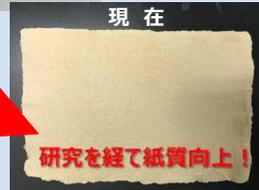


↑「かみこや」で土佐和紙の製法を学ぶ

昨年のコンテスト時



現在



研究を経て紙質向上！

取組の感想

昨年のコンテストをきっかけにしょうがペーパー実現に向けて取り組み、高知名産の生姜や土佐和紙をより深く知り、様々な可能性を感じています。今後は紙づくりの再現性を高め、世の中に広める第一歩としてまずは名刺を実現させたいです。

■ RESASとは

様々なビッグデータを分かりやすく「見える化」したシステムです

RESAS（リーサス：地域経済分析システム「Regional Economy (and) Society Analyzing System」の略）は、地域経済に関する様々なビッグデータ（産業、人口、観光など）を分かりやすく「見える化」し、地方創生の取り組みを情報面・データ面から支援するため国が提供しているシステムです。

RESASは、一部のデータを除いて、ウェブ上で、どなたでもアクセスし、利用することができます。RESASを利用することで、専門家が扱うものというイメージの強いデータを、特別な知識や技術を持たなくても「見る」ことができます。

これまで「勘と経験と思い込み」に頼りがちになっていた現状の把握や課題の発見を、RESASから得られた「客観的なデータ」に基づいて行うことができるので、様々な取り組みやビジネスプランなどを考える際に役立てることができます。



RESAS 地域経済分析システム トップ画面
※Google Chrome 又は Internet Explorer11のブラウザでご利用ください。

URL : <https://resas.go.jp/>

※高知家地方創生アイデアコンテスト2017の受賞作品及び最終審査会の動画を、下記高知県計画推進課のHPに掲載していますので、ぜひご覧ください。

URL :
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/120801/resas-contest2017result.html>



高知家地方創生アイデアコンテスト2017



【お問い合わせ】

高知県産業振興推進部計画推進課

〒780-8570

高知県高知市丸ノ内1-2-20

TEL 088-823-9335

メール 120801@ken.pref.kochi.lg.jp